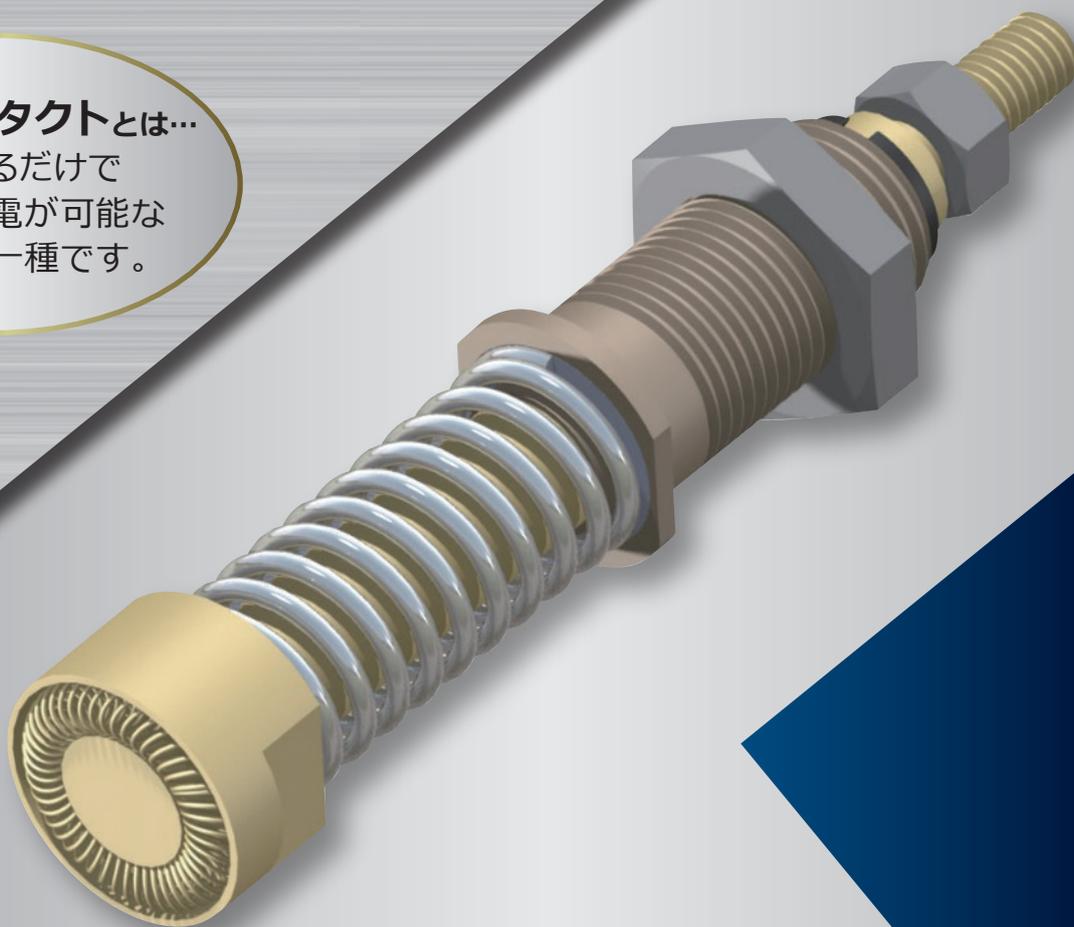


# 大電流テストプローブ

## バットコンタクト BCシリーズ

バットコンタクトとは…  
押し当てるだけで  
大電流の給電が可能な  
プローブの一種です。



### 斜め巻きコイルスプリングを採用

- ・通電不良の防止
- ・検査対象への傷を大幅低減
- ・ランニングコストを抑える

## バットコンタクトのメリット

### 通電不良による 不具合の防止

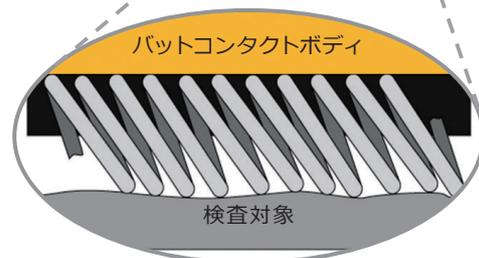
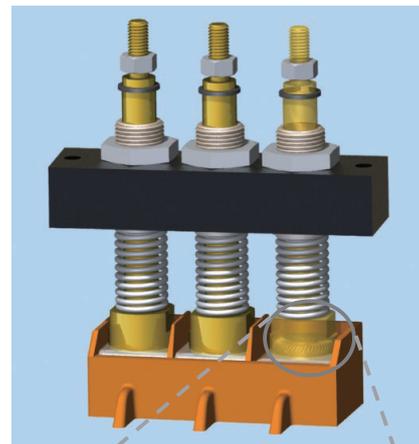
コイル一巻き一巻きを確実に相手面へ当てることで高い接触信頼性を実現します。

### 検査対象への傷を 大幅に低減

斜め巻きのコイルスプリングが検査対象に多点で柔らかく接触します。

### ランニングコストを 抑える

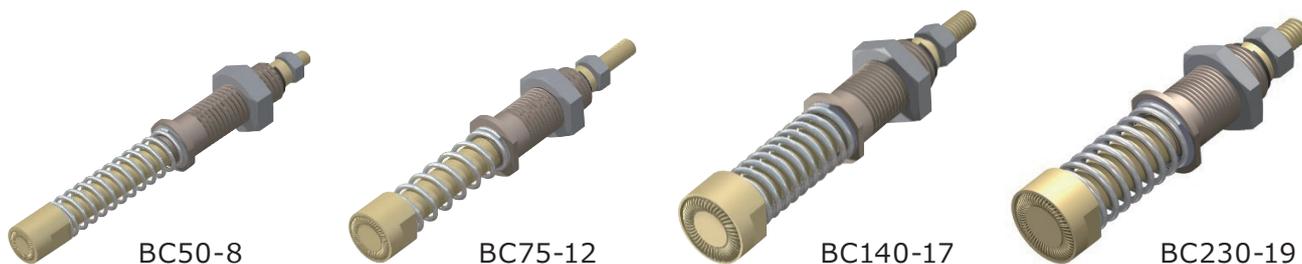
社内試験にて 100 万回の耐久試験をクリアしています。高い耐久性で、メンテナンスの頻度を下げることができます。



コイルスプリングが検査対象に追従

## 製品ラインナップ

4 タイプの標準品バットコンタクトをご用意しております。



製品型式	標準許容電流	先端径	ばね圧縮力	ねじサイズ
BC50-8	50A	φ8 mm	5N ~ 9N	M3
BC75-12	75A	φ12 mm	16N ~ 28N	M4
BC140-17	140A	φ16.5 mm	16N ~ 28N	M5
BC230-19	230A	φ18.5 mm	16N ~ 29N	M6

## 使用実績

- パワー半導体の出荷検査
- スマートメーターの生産工程 / 出荷検査
- 自動車部品の製造検査工程
- AGV の電源給電用接続部
- インバータの生産工程内での通電検査

…etc



## 試験方法について

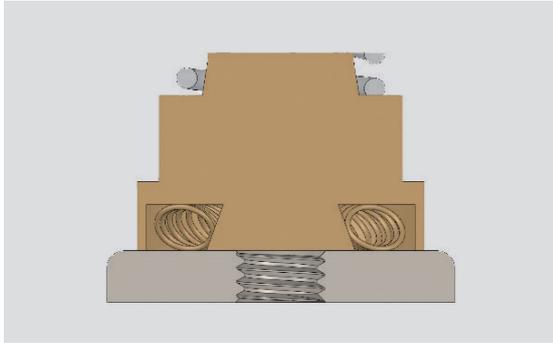
型式毎に通電試験のデータを公開しております。

### ●連続通電試験

2通りの接続方法での連続通電試験時の温度上昇データです。

#### 試験①

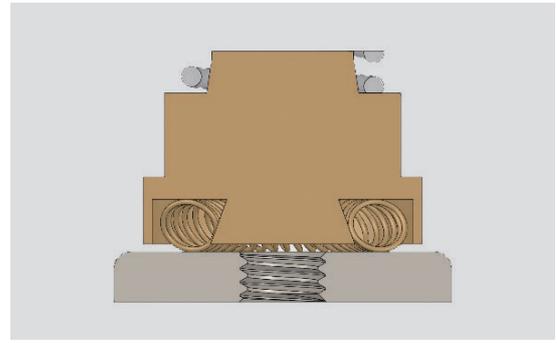
コイルスプリング(接点)及びボディ接続



バットコンタクトが**最大限性能を発揮できる**コイルスプリング、ボディ双方が検査対象に接触している状態での試験データ

#### 試験②

コイルスプリング(接点)単体接続



バットコンタクトが性能を発揮する為に必要な**最低限の条件である**コイルスプリングのみが検査対象に接触している状態での試験データ

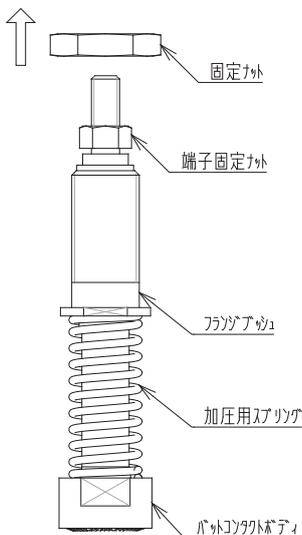
### ●過電流試験

標準許容電流を超えた電流の短時間通電時の温度上昇と自然冷却のデータです。

※データはコイルスプリング及びボディ接続時の温度変位になります。

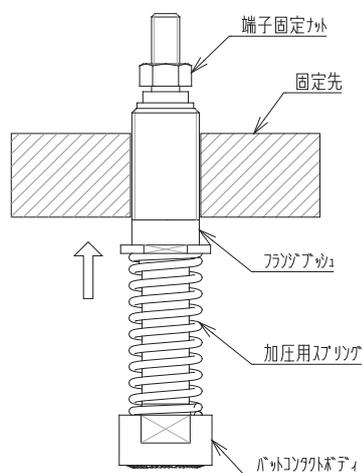
## 取付方法

#### 手順①



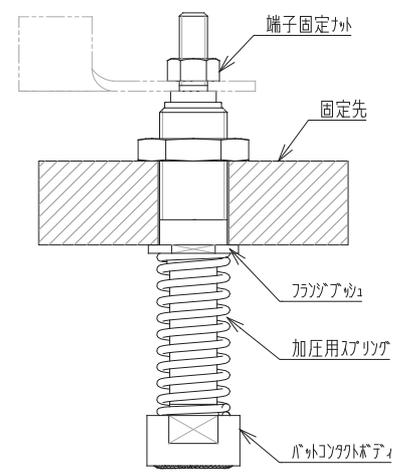
①バットコンタクトのフランジブッシュより固定ナットを取り外します。

#### 手順②



②固定先の穴にバットコンタクトを挿入します。

#### 手順③



③固定ナットを締め付けてバットコンタクトを固定します。給電対象(圧着端子等)を端子固定ナットで締め付け固定します。

# BCシリーズ バットコンタクト

## BC50-8



### 製品仕様

使用可能温度： **-40℃~140℃** ※通電時の温度上昇値を含む

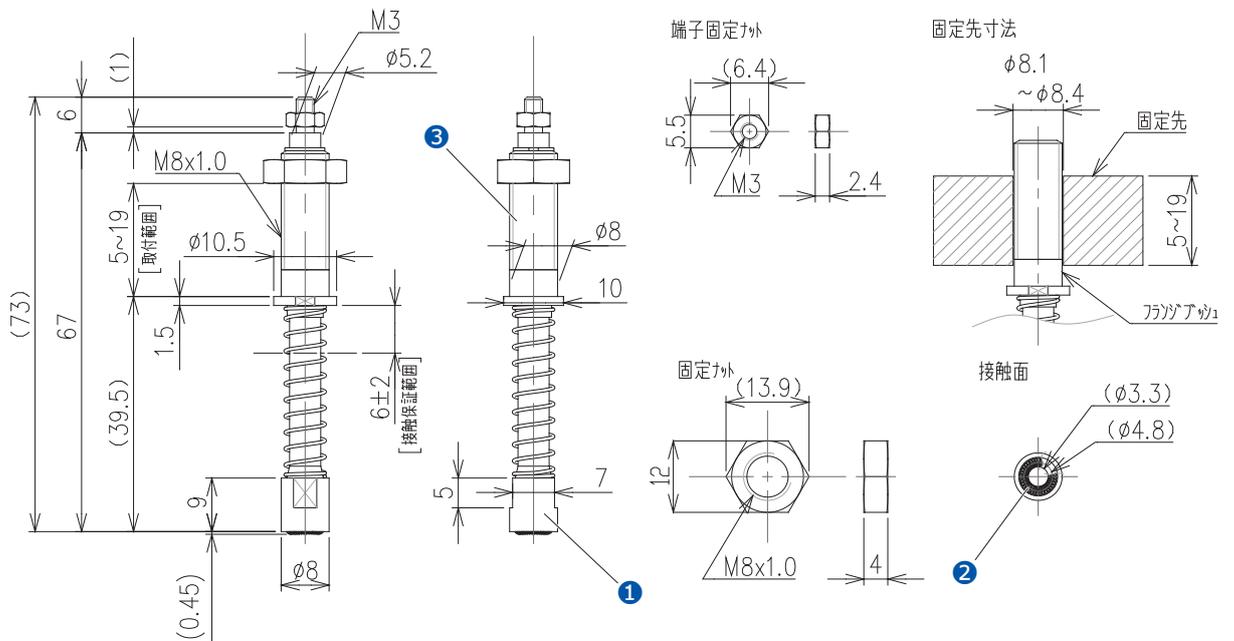
標準許容電流： 50A ※接続条件により変動

電圧： 固定先材質と沿面距離によってご判断ください  
※固定先が金属の場合には AC/DC200V 以下でご使用ください

想定耐久回数： 10万回~100万回 ※接続対象 / 使用ケーブル / 使用環境等により変動

ばね圧縮力： 5N~9N

### 外形寸法



①  
バットコンタクトボディ  
〈銅 - 金めっき処理〉

②  
コイルスプリング  
〈銅 - 金めっき処理〉

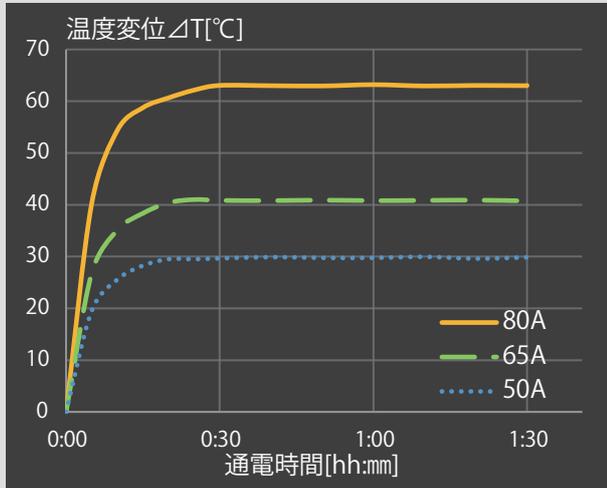
③  
フランジブッシュ  
〈PEEK〉

## 連続通電試験結果

試験方法については p3 を参照してください。

### 試験①

コイルスプリング及びボディ接続時の温度変位

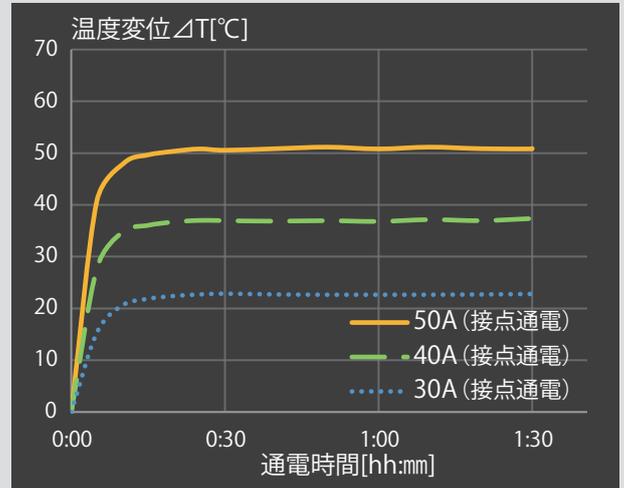


電流値 [A]	温度変位 ΔT [°C]			
	5min	10min	30min	60min
50	19.5	25.6	29.7	29.8
65	26.8	35.1	40.9	40.8
80	40.2	54.4	63.1	63.2

※試験ケーブルサイズ 5.5sq

### 試験②

コイルスプリング(接点)単体接続時の温度変位

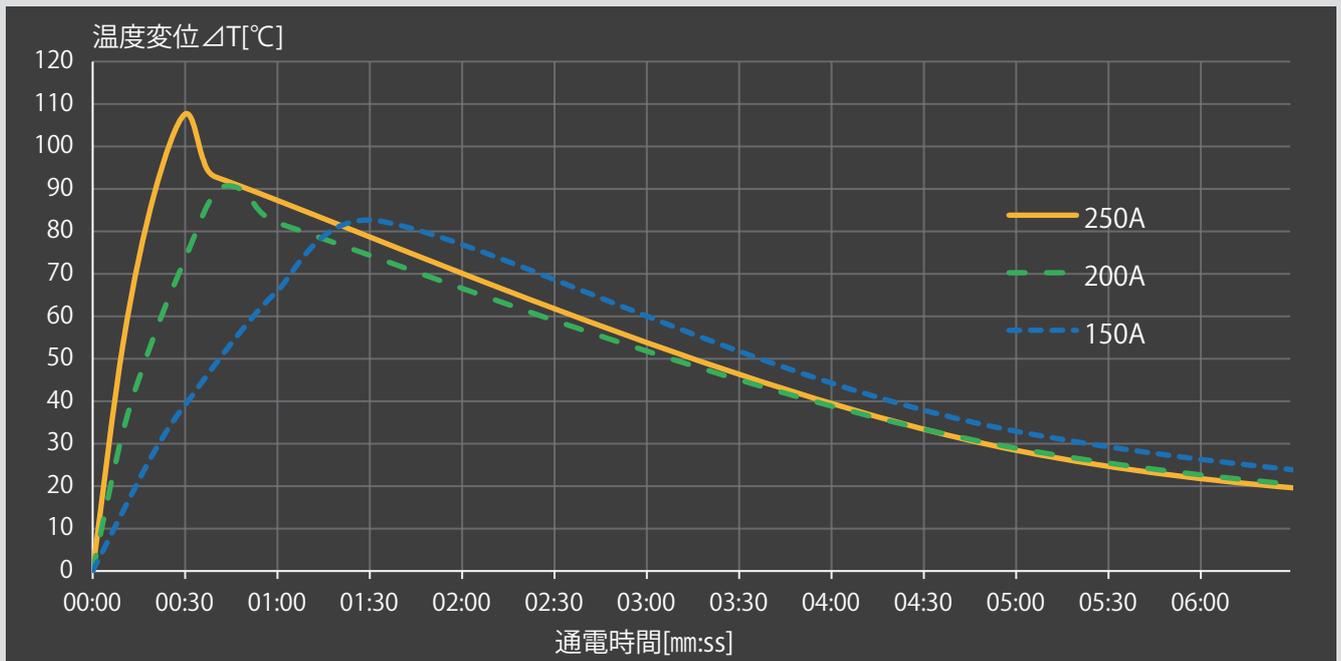


電流値 [A]	温度変位 ΔT [°C]			
	5min	10min	30min	60min
30	15.3	20.6	22.9	22.7
40	27.7	34.8	37.0	36.8
50	40.8	48.1	50.6	50.8

※試験ケーブルサイズ 5.5sq

## 過電流通電試験データ

150A/200A/250A 短時間通電試験時の温度変位



※試験ケーブルサイズ 5.5sq

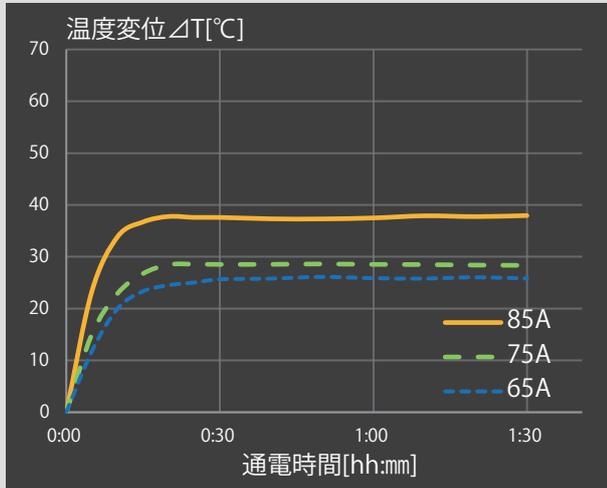


## 連続通電試験結果

試験方法については p3 を参照してください。

### 試験①

コイルスプリング及びボディ接続時の温度変位

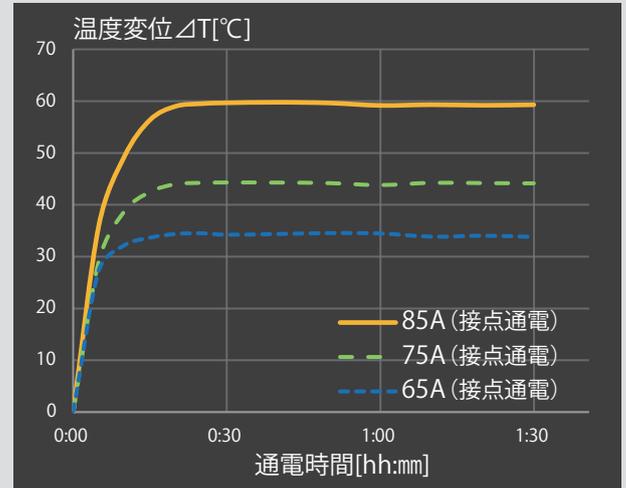


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	5min	10min	30min	60min
65	11.8	20.0	25.7	25.9
75	15.1	22.9	28.5	28.5
85	23.3	33.8	37.6	37.5

※試験ケーブルサイズ 8sq

### 試験②

コイルスプリング(接点)単体接続時の温度変位

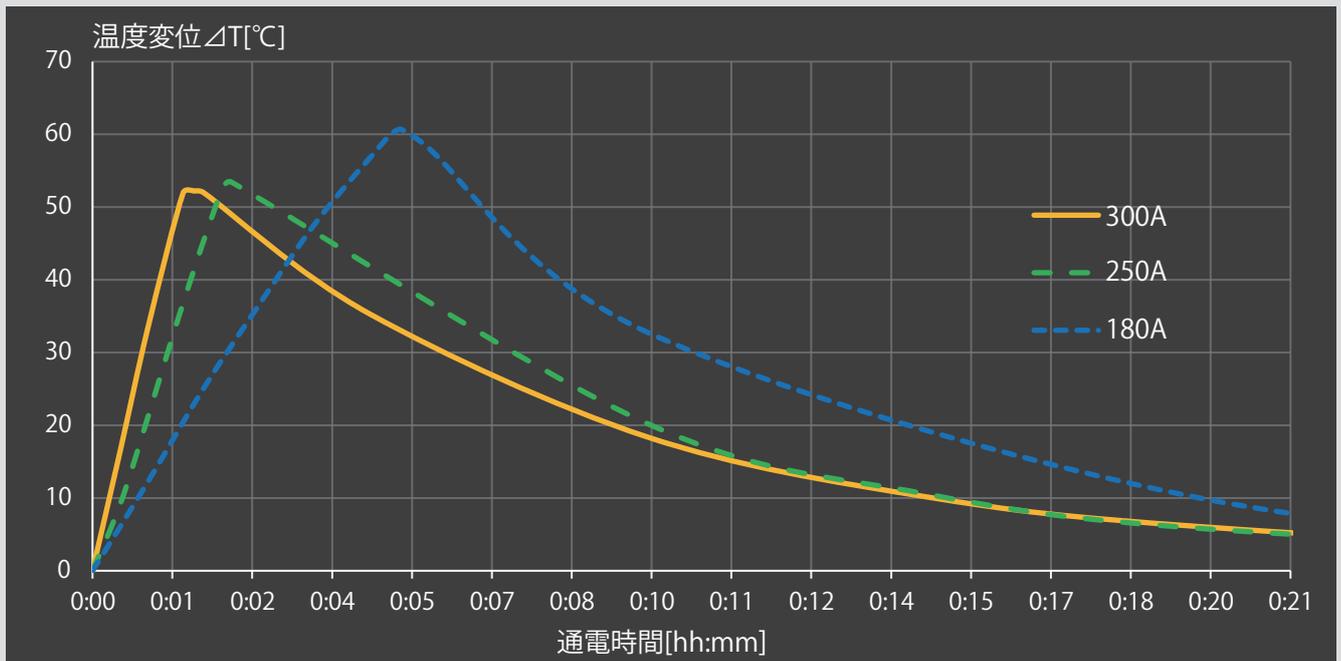


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	5min	10min	30min	60min
65	27.3	32.2	34.2	34.5
75	29.1	38.7	44.3	43.8
85	36.0	49.3	59.7	59.2

※試験ケーブルサイズ 8sq

## 過電流通電試験データ

180A/250A/300A 短時間通電試験時の温度変位



※試験ケーブルサイズ 14sq

# BCシリーズ バットコンタクト

## BC140-17



### 製品仕様

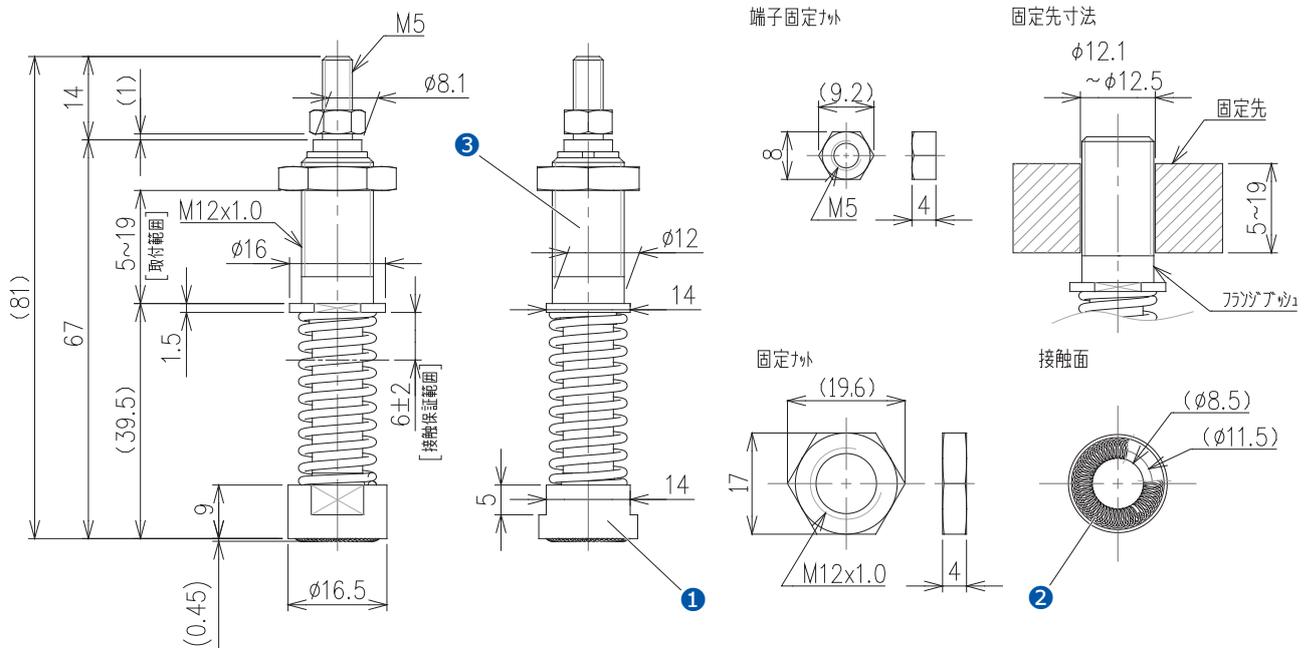
使用可能温度： **-40℃~140℃** ※通電時の温度上昇値を含む

標準許容電流： 140A ※接続条件により変動

電圧： 固定先材質と沿面距離によってご判断ください  
※固定先が金属の場合には AC/DC200V 以下でご使用ください

想定耐久回数： 10万回~100万回 ※接続対象 / 使用ケーブル / 使用環境等により変動  
ばね圧縮力： 16N~28N

### 外形寸法



①  
バットコンタクトボディ  
〈銅 - 金めっき処理〉

②  
コイルスプリング  
〈銅 - 金めっき処理〉

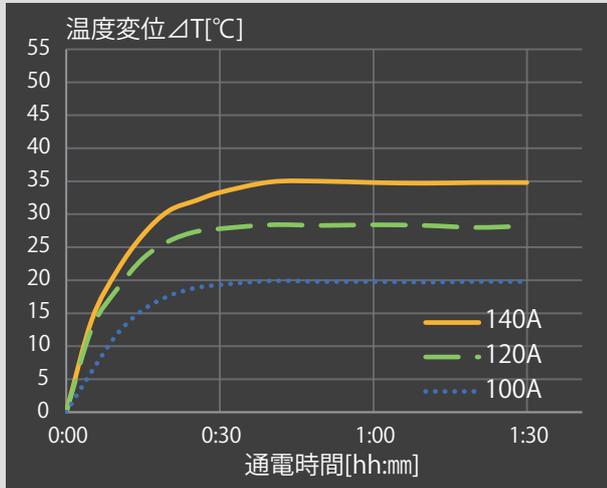
③  
フランジブッシュ  
〈PEEK〉

## 連続通電試験結果

試験方法については p3 を参照してください。

### 試験①

コイルスプリング及びボディ接続時の温度変位

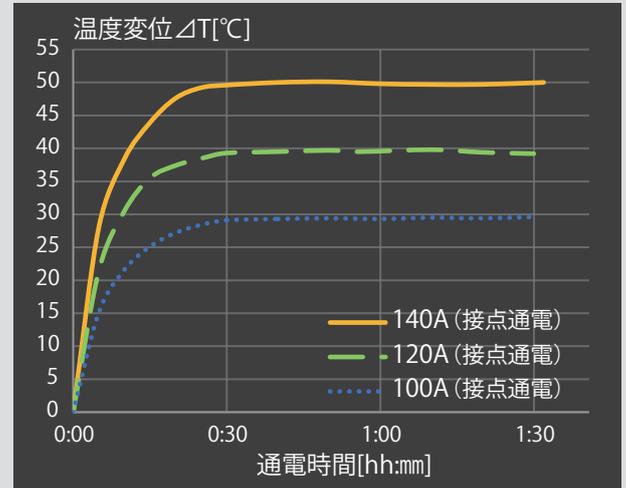


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	10sec	5min	30min	60min
100	0.4	6.2	19.3	19.8
120	0.5	11.5	27.8	27.8
140	0.7	14.0	33.3	34.8

※試験ケーブルサイズ 38sq

### 試験②

コイルスプリング(接点)単体接続時の温度変位

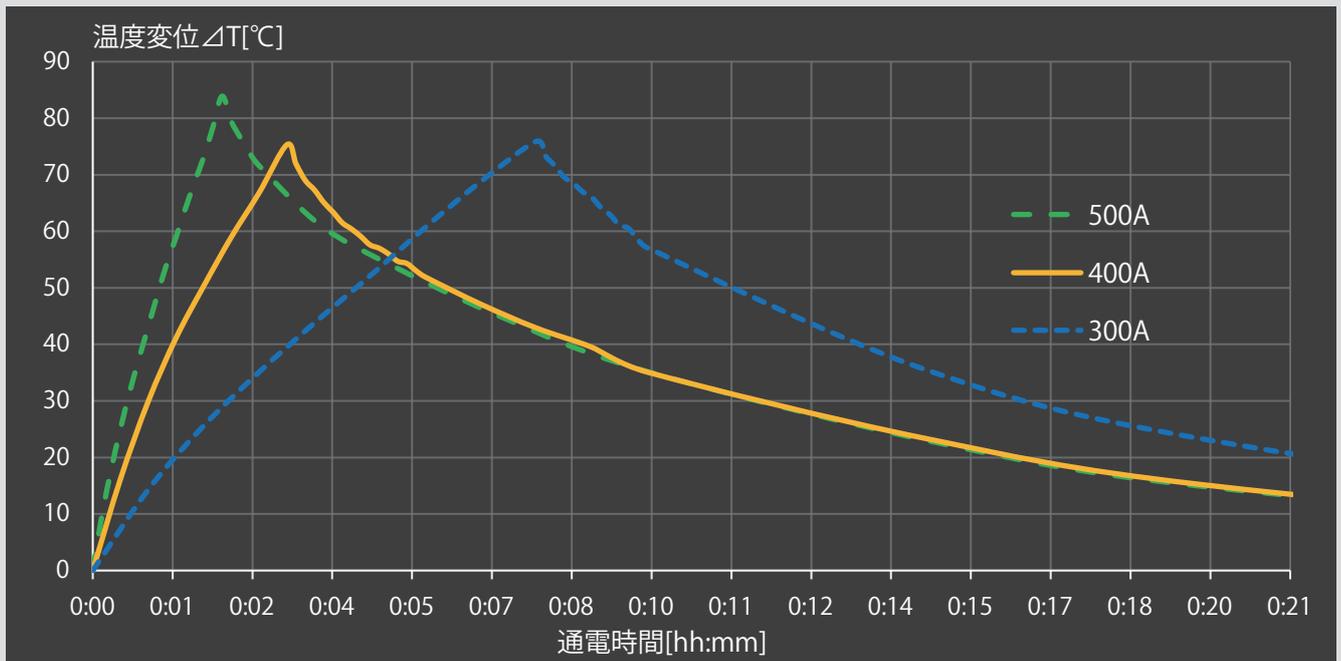


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	10sec	5min	30min	60min
100	0.7	15.1	27.8	28.2
120	0.9	21.4	39.3	39.8
140	1.1	28.1	48.4	48.5

※試験ケーブルサイズ 38sq

## 過電流通電試験データ

300A/400A/500A 短時間通電試験時の温度変位



※試験ケーブルサイズ 38sq

# BCシリーズ バットコンタクト

## BC230-19



### 製品仕様

使用可能温度： **-40℃~140℃** ※通電時の温度上昇値を含む

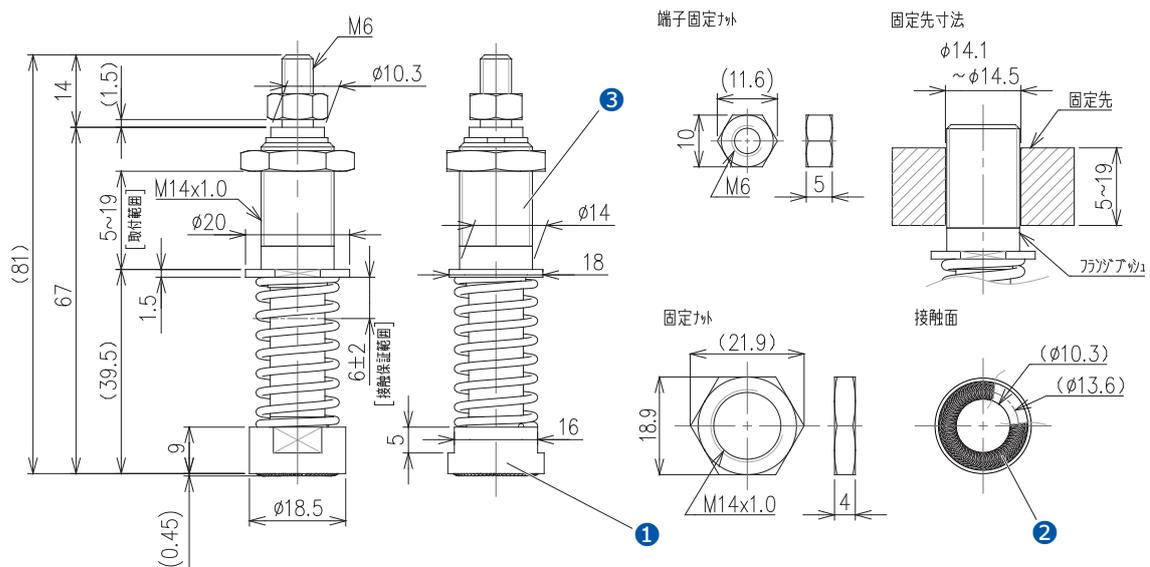
標準許容電流： 230A ※接続条件により変動

電 圧： 固定先材質と沿面距離によってご判断ください  
※固定先が金属の場合には AC/DC200V 以下でご使用ください

想定耐久回数： 10万回~100万回 ※接続対象 / 使用ケーブル / 使用環境等により変動

ばね圧縮力： 16N~29N

### 外形寸法



**1**  
バットコンタクトボディ  
〈銅 - 金めっき処理〉

**2**  
コイルスプリング  
〈銅 - 金めっき処理〉

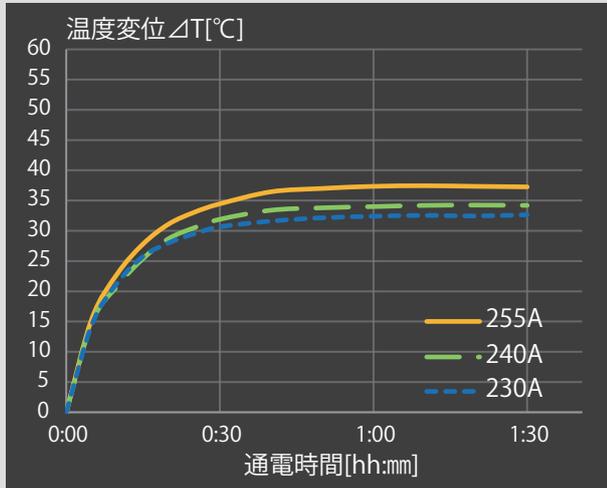
**3**  
フランジブッシュ  
〈PEEK〉

## 連続通電試験結果

試験方法については p3 を参照してください。

### 試験①

コイルスプリング及びボディ接続時の温度変位

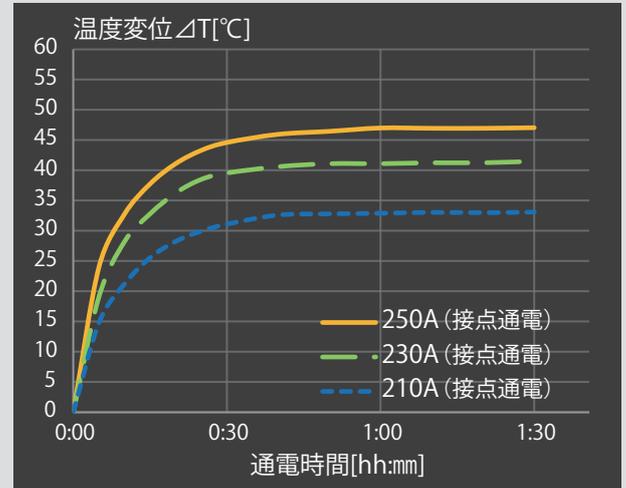


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	5min	10min	30min	60min
230	12.5	19.1	28.8	32.3
240	13.7	19.7	30.9	33.7
255	14.5	22.1	34.4	37.5

※試験ケーブルサイズ 80sq

### 試験②

コイルスプリング(接点)単体接続時の温度変位

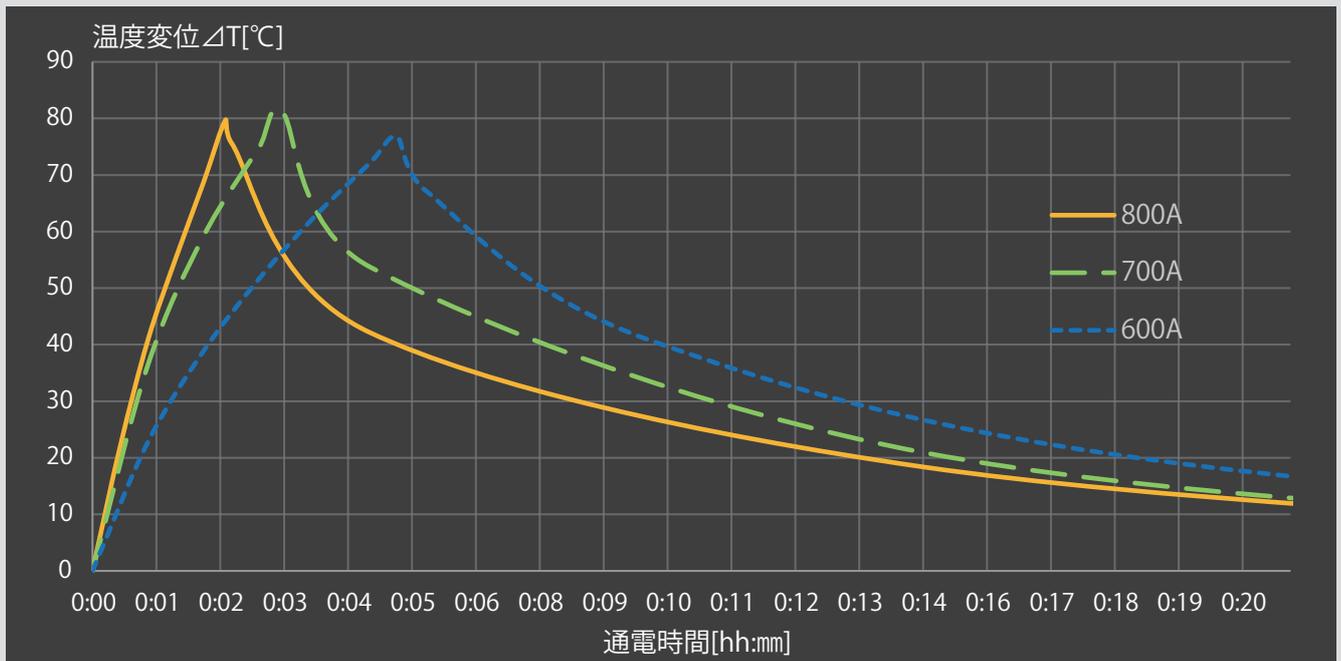


電流値 [A]	温度変位 $\Delta T$ [°C]			
	5min	10min	30min	60min
210	14.2	20.6	30.4	32.3
230	18.1	25.9	36.6	38.6
250	22.0	30.5	43.1	44.7

※試験ケーブルサイズ 80sq

## 過電流通電試験データ

600A/700A/800A 短時間通電試験時の温度変位



※試験ケーブルサイズ 80sq



株式会社 グローブ・テック

〒191-0003 東京都日野市日野台1丁目13-21

電話番号：042-584-1020 FAX番号：042-584-1030

HP：<https://www.globetech.co.jp/>

注意 1: 参考取付穴径は、参考数値となります。必ず試し穴を空けて最適な穴径をご確認ください。

注意 2: 推奨以外の圧着端子を使用する場合には、温度上昇等の安全性を確認した上で使用すること。

注意 3: 接触部はワーク材質や形状の影響が大きくなります。

上記情報はすべて弊社内での試験データであり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。

注意 4: 耐久性については社内実験のデータをもとに記載しております。  
電流値、ワーク材質、使用可能な接触抵抗基準によって耐用回数変動します。

注意 5: コイルスプリングの磨耗等により、アークや発熱が発生します。定期的にあークや発熱が発生していないことをご確認の上ご使用を継続してください。

注意 6: 仕様は予告なく変更することがございます。